

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業評価シート  
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

※平成28年7月26日開催 尾鷲市地方創生会議における意見聴取結果を含む。

交付対象事業の名称 単位:円	交付金の種類	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI) ※事業計画書より転記					本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について (担当課所見)		外部有識者からの評価		議会からの提案事項
			指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果 (担当課評価)	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	外部有識者からの意見		
1 尾鷲市人口ビジョン・総合戦略策定プロジェクト ・尾鷲市総合戦略定業務	基礎交付	8,198,440	指標①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			指標②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			指標③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			指標④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			指標⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 尾鷲市農林水産業の成長産業化プロジェクト ・特別尾鷲産材活用促進事業 1,474,000 ・食のプランディング・プロモーション事業 4,307,833 ・第6回日本さかな検定誘致事業 894,000	基礎交付	6,675,833	指標①	モデル住宅への来訪者数	100	名	H28.3	200	地方創生に相当程度効果があった	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	①②予想を上回る反響があったことから、引き続き多方面からPR事業を実施し、消費者へ「尾鷲ヒノキ」の周知と需要拡大を目指していく。 ③日本さかな検定や協賛フェア等を通じ、尾鷲の水産物の魅力発信に一定の効果が見られた。検定自体は本事業で終了となるが、今後も普及啓発や情報発信に取り組んでいく。 ④⑤継続した商品開発やプロモーション活動により、市内産品の特産品化及び、都市部での消費拡大を図ることができることから、今後も活動を継続していく。	■本事業がKPI達成に有効であった □本事業はKPI達成に有効とは言えなかった	・さかな検定は今回限りとのことだが、魚のまちをPRするにはいいイベントだと思うので、何かの機会と併せて再度の開催を検討してほしい。また、検定と併せて合宿等を企画するのも検討してほしい。 ・尾鷲産材は伊勢志摩サミットでアピールしていたが、東京オリンピック等もあるのでさらに知名度アップを狙ってほしい。	・定住者住宅取得奨励金 ・尾鷲ブランドの確立と働きやすい環境の構築
		指標②	尾鷲産材の発注件数	5	件	H28.3	5							
		指標③	日本さかな検定及び協賛フェアへの来場者数	2,700	名	H28.3	3,154							
		指標④	新商品開発等に取組中の案件	5	件	H28.3	5							
		指標⑤	プロモーション実施回数	4	回	H28.3	3							
3 尾鷲市安心して子どもを生み子育てができる地域づくりプロジェクト ・子育てまちづくり座談会 730,741 ・子育てしたいまちづくり情報発信・企画提案 5,074,638 ・子育てキャンプ情報発信 1,489,000 ・読書活動推進 5,197,001 ・任意予防接種 4,233,656 ・パパママ教室 69,078 ・フッ素塗布及びフッ化物洗口 2,587,894 ・不妊治療費に対する助成 872,848 ・中学生に対する入院医療費助成 83,766	基礎交付	20,338,622	指標①	子どもや子育て支援への満足度の向上	3.00		H28.3	2.72	地方創生に効果があった	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	・子育て支援については、住民と行政との座談会等で協議を重ねており、今年度事業内容の見直し等も含め、推進していきたい。 ・今年度より、「妊娠・出産・子育て」の包括的なサポート支援体制の構築を目指しており、関連する各事業の見直しを行っていく。 ・児童生徒と本をつなぐ役割を果たす学校司書は必要不可欠であることから、継続して配置していく。また、読書習慣の定着と読書意欲の向上を図ることから、ビブリオバトルやファミリー読書等の取り組みを引き続き継続していく。	■本事業がKPI達成に有効であった □本事業はKPI達成に有効とは言えなかった	・妊娠・出産・子育てに関してサポートは十分できていると言える。 ・不妊治療費助成については、移住希望者に対して有効であると思う。 ・朝読・昼読に関しても成果が出ている。	・子育てに関する活動の推進、団体の支援 ・子育て支援制度の充実 ・田舎の利点をもっと活用しアピール
		指標②												
		指標③												
		指標④												
		指標⑤												

	交付対象事業の名称 単位:円	交付金の種類	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI) ※事業計画書より転記				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について (担当課所見)		外部有識者からの評価		議会からの提案事項
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果 (担当課評価)	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	外部有識者からの意見	
4	尾鷲市地域資源を活用し安心して定住移住できる地域づくりプロジェクト ・運賃平準化事業 450,890 ・定住移住促進事業(コミュニティビジネス) 1,652,016 ・定住移住促進事業(空き家バンク・相談会) 681,566	基礎交付	2,784,472	指標① 食の提供施設及び物産施設の運用実施	1	件	H28.3	1	地方創生に効果があった	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	①九鬼地区においてコミュニティビジネスが事業化し、活動が行われている。今後は、活動のニーズを把握するとともに、それに応じた新たな支援の手法の検討を行う。 ②当面は運賃の平準化を継続していくが、今後の人口減少を見据えた形に、事業内容の改善を行っていく。 ③子育て・仕事・住まい・地域との繋がりがなど、実際に現地体験できる移住体験施設を整備し、移住者の増加に繋げていく。	■本事業がKPI達成に有効であった □本事業はKPI達成に有効とは言えなかった	・古道客に対しての拠点を作ることを検討してはどうか。 ・コミュニティバスについて乗り合いタクシー等検討が必要。 ・定住移住者数が伸びている。取り組みの効果が認められるため、もっと力を入れていただきたい。	・ベンチャーを育てるといふ機運 ・ふれあいバスをもっと拡充する ・空き家対策
指標② コミュニティバス須賀利地区利用者数	2,200	人	H28.3	2,384										
指標③ 移住について具体的な相談に入っている者数	10	人	H28.3	39										
指標④														
指標⑤														
5	地域産品を有効利用した「おわせマハタ」ブランド化事業	タイプI	3,300,000	指標① マハタ生産量	76	t	H28.3	94	地方創生に効果があった	③特に見直しをせず事業を継続する	引き続き、関係機関と連携し、マハタのブランド化、養殖技術の向上などに取り組んでいく。	■本事業がKPI達成に有効であった □本事業はKPI達成に有効とは言えなかった	・市内でマハタを食べるイメージがない。地元での普及も必要。 ・紀北町ではマハタをふるさと納税の返礼品として出しているため、尾鷲市でも検討してもらいたい。 ・今後は、マハタ研究に用いる餌の商品化も検討してもらいたい。	・尾鷲ブランドの確立と働きやすい環境の構築
指標② マハタ生産額	127	百万円	H28.3	166										
指標③														
指標④														
指標⑤														
6	東紀州養殖ヒロメ消費拡大促進事業 【広域連携:紀北町・尾鷲市】	タイプI	1,000,000	指標① ヒロメ養殖量の増大(紀北町を含む)	5	t	H30.3	3	地方創生に効果があった	③特に見直しをせず事業を継続する	生産者、関係団体等とともに更なる知名度の向上、販路拡大に取り組んでいく。	■本事業がKPI達成に有効であった □本事業はKPI達成に有効とは言えなかった	・ヒロメの付加価値の向上が必要。フカメとの差別化が図れていないように感じる。 ・ヒロメの調理法のアピールや、調理の面倒さを解消するような取り組みが必要。 ・ふるさと納税の返礼品に入れてみてはどうか。 ・地元で食べられていないものを売り出すのは難しい。地元消費の拡大をまず行ってほしい。	・尾鷲ブランドの確立と働きやすい環境の構築
指標② ヒロメ取扱店の増加(全地域)	10	店舗	H28.3	10										
指標③ 新規就業者の参入(紀北町を含む)	1~2	事業者	H28.3	0										
指標④														
指標⑤														
7	東紀州・奥伊勢・伊勢志摩 周遊滞在促進事業 【広域連携:南伊勢町・大台町・大紀町・紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町】	タイプI	980,000	指標① 伊勢志摩・東紀州 平均立ち寄り地点数	3.00	地点数	H28.3	1.99	地方創生に効果があった	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	広域での情報発信の必要性は高いため、今後も継続的に実施していく。 今年度は、地方創生加速化交付金事業を活用し、東紀州5市町で観光DMOの設立に向けて取り組んで行く。	■本事業がKPI達成に有効であった □本事業はKPI達成に有効とは言えなかった	・スタンフラーのような、縦でつなぐ試みを行うのはよい。 ・これまでは高齢層をターゲットにしてきたが、若者や外国人をターゲットにするのはどうか。熊野古道に登る外国人は多い。基礎調査をして、尾鷲市に観光で来やすい流れを作るべきではないだろうか。ネットが普及しfacebookやtwitter等で発信する若者は多い。 ・尾鷲市で観光となると目立った場所が現状少ない。メインとなる仕掛けを考えてほしい。 ・KPIについては、指標として分かりにくい。検討が必要。	・外需を求める
指標② 伊勢志摩・東紀州立ち寄り率(伊勢志摩から東紀州)	5.1	%	H28.3	5.10										
指標③ 伊勢志摩・東紀州立ち寄り率(東紀州から伊勢志摩)	7.1	%	H28.3	6.10										
指標④														
指標⑤														

	交付対象事業の名称 単位:円	交付金の種類	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI) ※事業計画書より転記				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について (担当課所見)		外部有識者からの評価		議会からの提案事項	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果 (担当課評価)	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	外部有識者からの意見		
8	尾鷲市安心して子どもを生き育てができる地域づくりプロジェクト ・わんぱく子育て推進事業 637,618 ・見守り子育て推進事業 876,761 ・本読み子育て推進事業 1,418,857	タイプⅡ	2,933,236	指標①	フィールドワーク参加者数	20	人	H28.3	13	地方創生に相当程度効果があった	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	地域全体で地域の子どもを見守り育てる取り組みや気運作り、親子や家族で読書を通じ子ども豊かな心を育む取り組み、郷土の魅力子どもたちに伝えふるさとを愛する人づくりに繋げる取り組みは、子育て世帯の安心・安全や地域コミュニティの連帯感につながるため、安心して子どもを生き育てができる地域づくりにとって重要な効果的であり、今後も継続する必要がある。	■本事業がKPI達成に有効であった □本事業はKPI達成に有効とは言えなかった	・読み聞かせなどは、地域の方々が協力的であり、積極的に行っていたが、図書館を読む場所や高校生の勉強する場所があまりにも少ない。図書室のスペースの充実を図ってほしい。 ・図書館のスペースは、廃校等を活用するなど、やり方はあると思う。また、移動図書館の実施も検討してほしい。	・子育て支援制度の充実 ・田舎の利点をもっと活用しアピール
指標②	子育て講演会参加者数	150	人	H28.3	99										
指標③	託児講習会等開催回数	3	回	H28.3	1										
指標④	地域非行防止啓発活動回数	3	回	H28.3	4										
指標⑤	美容料理講座参加者数	20	人	H28.3	25										
指標⑥	講演会参加者数	150	人	H28.3	301										
指標⑦	本読み子育て推進事業を通じた図書館利用者カード新規登録者数	30	人	H28.3	50										
指標⑧															
指標⑨															
指標⑩															
9	尾鷲市地域資源を活用し安心して定住移住できる地域づくりプロジェクト ・観光HP改修委託事業 395,000 ・観光促進媒体作成委託事業 1,998,000 ・おわせ体験モニターツアー事業 881,267 ・食の産業開発促進事業 3,500,000	タイプⅡ	6,774,267	指標①	メニュー開発品数	10	点	H28.3	12	地方創生に効果があった	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	①外部有識者のみでなく市内事業者もメニュー開発を行い、自店舗にて提供することによる顧客ニーズを収集し、より売れるメニューを継続的に開発していく。 ②③予定通り事業が完了した。今後も継続的な情報発信を行うとともに、東紀州観光DMOなど、広域的な取り組みも併せて進めていく。	■本事業がKPI達成に有効であった □本事業はKPI達成に有効とは言えなかった	・ZTVの範囲は遊覧にも広がっている。そこに集中的に流してみる取り組みも検討してほしい。 ・まちパルイベントは、尾鷲がにぎわっていて効果的な取り組みだと思う。	・尾鷲ブランドの確立と働きやすい環境の構築 ・外需を求める ・田舎としての売り込みを可能とするための施策構築
指標②	「ホームページ」「おわせ観光マップ」「PRポスター」の対応言語数	5	カ国語	H28.3	5										
指標③	モニターツアーへのメディア関係者参加者数	20	人	H28.3	18										
指標④															
指標⑤															